



み づ

№.333

62年

1 月



卯 年

今年は卯年です。本町で卯年生まれの方は約 2,900人
総人口の 7.6%に当たります。一番多いのが第2次ベ
ーブーム期の昭和50年生まれ、最高齢が今年96歳になる
明治24年生まれです。

過去の卯年は、大事件や大災害のない平穏な年であっ
たようですが、さて、今年はどんな年となるでしょう。
(写真は、うさぎと戯れるありんこ保育園の園児です。)

恒例の新年祝賀式を1月5日、壬生中央公民館に町内の各界を代表する400名を迎えて行いました。町長は最近の状況や昭和62年の抱負を述べ、来賓の小菅町議会議長、佐藤県議会議員から祝辞がありました。

壬生町長
榆井章三



新年あけましておめでとうございませう。輝かしい昭和六十二年の新春を迎えるにあたり、年頭のこのあいさつを申し上げます。昭和七十年をめざし、町総合振興計画の基本方針として、「活力と創造に満ちたふれあいのまち」を提起いたし、関係各位のこの協力のもと着実にその基盤を築きつつあることに對し厚くお礼申し上げます。

特に昨年は、町長・町議会議員の選挙が行われ、私自身町民の深いご理解と付託により再選させていただき、慎しんでお礼申し上げますとともに、町民の代表者として議会の協力をいただきます。

誇れるわがまちづくりのために
精進する覚悟でございます。

る町政推進に待ての申し上りです。また、町民待合の黒川に上りまゐりいづる。歴史民俗資料がオープンいたし、また、稲穂地区公民館建設業をはじめ、南大飼中体育館、稲葉小給食及び保健施設等、年度内完成をめざして建設中。さらに、今年度継続事業による壬生東小校校増改築事業も調に進んでおります。姉妹都市の滋賀県水戸町と、中学生部との滋賀親善会などをを行い、友誼を図っております。さて、昭和五十二年度の予算編成の大綱を申し上げます。まず、都市計画と交通、通商の

整備では、国谷寺地区画整理事業、内児童公園の整備、壬生駅東駅前広場整備の進行と合わせ地下道工事を図り、また、壬生北部地区区画整理事業については組合施行で基本計画に入りたいと考えております。壬生城址公園

一層推進

小菅良一



消しよう」と、日本に内需拡大要求を強めていることは、皆様ご理解の通りであります。

一方政府においても、引き続き行財政改革を最重要政策にかけ、投資的経費の大幅削減、歳出の徹底節減を図るなど、地方行政に対しましても極めて厳しい状況下にあります。

昭和六十二年の年頭にあたり町議会を代表いたしまして、新年のこいざつを申し上げます。町内各界代表の皆様には、平素から町政推進に格別なるご尽力をいただきまして、衷心より感謝申し上げます。次でございま

さて、昨年を顧りみずと、わが国の社会経済をめぐる環境は、人口の高齢化、情報化、国際化が進展し、特に世界的円高による、輸出関連業種を中心とした企業採算の悪化等で、国内景気の後退が一段と鮮に深刻の度を加えております。更に、欧米各国は巨額の貿易赤字を解

教育・文化施設の充実、住民福祉の向上、さらには、地域環境の整備促進に努力して参つたところであります。

議会といたしましては、三万八千有余の町民の代表機関として、その意思を尊重し、これを市政に充分反映すべき重大な任務を負っております。

石崎 達氏 の2人が受章
葭葉 多一氏

十一月三日の文化の日に、恒例の秋の叙勲受章者が発表された。

本町からは、石崎達氏（仲通町）が保健衛生功勞により勲四等、

今後とも限らないご支援、ご協力をお願い申し上げます。

については、池堀・駐車場の整備を進めてまいりました。環境衛生上最も懸念がありました屎処理場建設事業の着手、公園草地整備事業の都市計画決定実現に向って作業を進めては、壬生北小学校増改築事業を最後に校舎等の建設から、教育内容の充実をさらに進めてまいりたい次第です。また、町史編さん事業については「資料編原始古代中世」、「資

刊し、引き続き「通史編二巻」を予定しております。

生活環境整備については、北部地域を公共下水道事業で、田壬生地区を巴波川流域下水道事業で対応すべく努力中であります。が、田壬生地区が予定より早ければ昭和六十三年四月に一部供用開始の見通しがつきました。

社会福祉の充実も本町行政に於ける重要な一つであります。

社会福祉の基盤である地域福祉の充実を図る必要があることから、本年はこれら地域のネットワークづくりのための調査を実施したと考えております。また町社会福祉協議会の活動態勢の強化を図るため、福祉基金の拡

宰相日小綏章を、薩摩多一氏二生下馬木一が郵政業務功勞によ上り、しぬ七等尊貴桐葉章をそれぞれ受章され、その栄に俗しました。受章され、兩氏は、それぞれ皇居宮城に招かれて天子親臨に視しくお目にからかれ、陛下からぬぎらぬのお言葉と、今後とも健康に氣をつけて社会のためにも健康しては、励ましのにお言葉をいただきました。

両氏には、皆さんとともにお祝いとお喜びを申し上げますとともに、今後も健康に留意され一層のご活躍を祈念します。

勲四等旭日小綬章

保健衛生功勞

石崎達氏

七十一歲



卒業後、東京大学病院物理療内科

阪東氏は、昭和十二年に壬生郵便局に勤務され、以来三十八年間にわたり外務、集金業務を献身的に続けてこられました。また、退職後も非常勤で従事し、郵政業務一筋に尽くされました。

黜七等青色桐葉章

葭葉多一氏

七十一歲

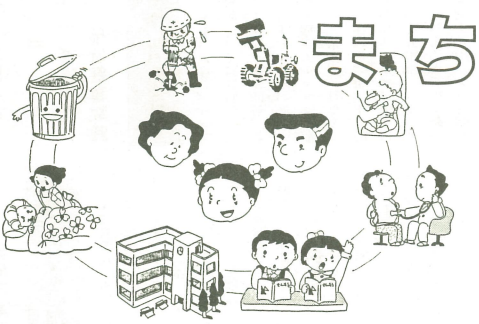
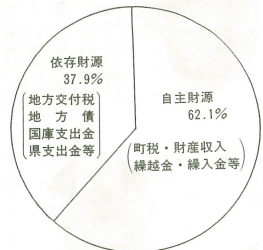


大字壬生乙二九〇六番地

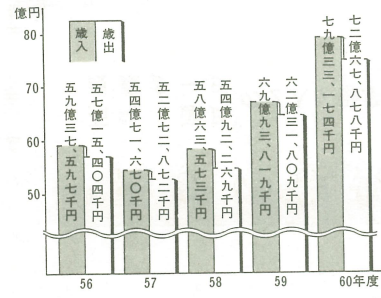
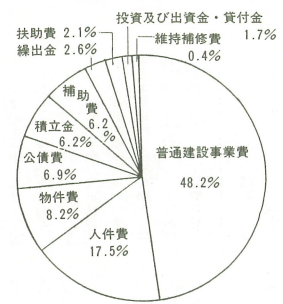
2月7日は「北方領土の日」です。北方の領土かえる日 平和の日。

2月は“郷土を愛する月”です

性質別歳入状況(普通会計)



性質別歳出状況(普通会計)



決算額の推移

特別会計決算状況

単位: 千円			
	歳入	歳出	繰越金
国谷土地地区画整理事業	2億68,680	2億66,623	2,057
奨学資金	2,766	2,440	326
公共下水道事業	6億75,876	6億54,556	21,320
老人保険事業	9億43,401	9億03,198	40,203
国民健康保険	14億80,024	14億60,442	2,582 (給付金積立 17,600)
水道事業	総収入額 3億97,091	総支出額 3億73,382	経利益 23,709
収益的収支	総収入額 15,502	総支出額 1億01,938	収支不足額※注 86,436

※注 過年度損益勘定留保資金・当年度損益勘定留保資金・建設改良積立金で補てん

地方債現在高

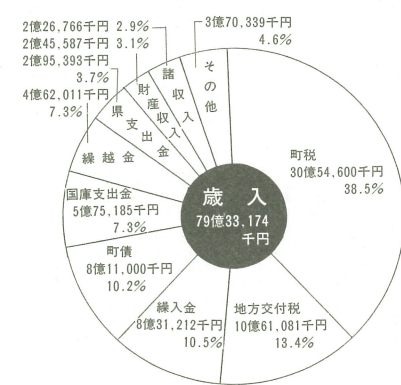
普通会計	51億84,218千円
一般公共事業債	44,809
一般単独事業債	9億67,771
公営住宅建設事業債	3億11,897
義務教育施設整備事業債	19億23,170
一般廃棄物処理事業債	4億84,639
厚生福祉施設整備事業債	6億21,067
公共用地先行取得等事業債	40,800
地域改善対策事業債	1億27,416
財政対策債	6,280
財源対策債	3億25,113
果貸付金	2億72,456
臨時財政特例債	6,400
調整債	52,400
上水道事業	22億84,661千円
公共下水道事業	16億23,923千円

の台所はどのように

昭和60年度決算

町民のみなさんに町の財政がどのようになっているかを知っていただくとともに、町政に対する理解を深めていただくため、町の財政状況の公表をしています。今回は、昭和60年度の決算状況についてお知らせします。

歳入の状況(一般会計)

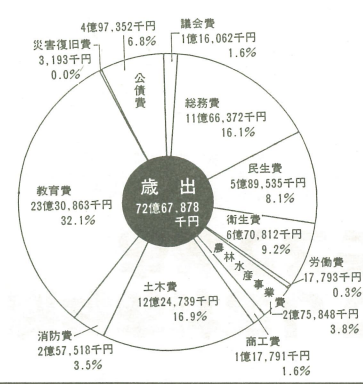


昭和六十年度一般会計の決算額は、歳入が、七十九億三、一七四千円で予算額に比べ一・九%の増、前年度決算額に対し一・八・五%増となり、歳出は、七十九億六、八七四千円で予算額に比べ九・三・三%の執行、前年度決算額に対し一・六・六%増となりました。

歳入前年度と比べ伸びたものは、千生城址公園代官地売却により財産収入が四四・九%増、公民館の建設等事業増に伴う補助金等の増により繰入金が一・〇%増、果支出金が七・〇・七%増などです。

歳出前年度と比べ伸びたものは、三月・六月の天候不順により災害復旧費が一四・一%増、保健センター建設、し尿処理用地取得などにより衛生費が一四・七%増、千生城址公園用地取得費、都市計画街路一里塚整備など事業増により土

歳出の状況(一般会計)



本費が六五・八%増などです。

六十年度の成果

環境整備の面では、千生城址公園の整備、都市計画街路一里塚線の促進を図り、また、町道等の整備を行いました。

義務教育施設整備では、稲葉小学校舎増改築、千生中学校舎増改築の建設を行い、社会教育施設では、公民館・図書館・歴史民俗資料館が完成、社会体育施設では、武道館・ふれあいプール、キャンプ場・ゲートボール場を建設し町民のふれあいの場を整備しました。

公衆衛生・福祉の面では、保健福祉センターを建設し町民の健康維持・増進と福祉の充実に努めました。

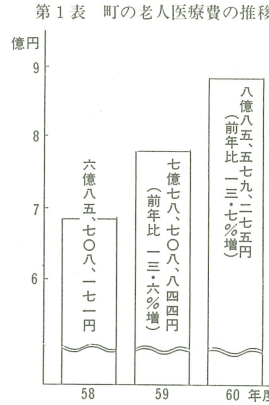
また、新生千生町が誕生してから三十周年を迎え、町民参加のもとに記念事業を行うとともに、滋賀県水口町との姉妹都市の盟約を行い、両町の振興発展と親善を図りました。

一人あたり39万3千円

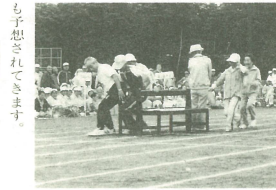
町の老人医療費

老人医療費は
増加の一途をたどる

急速な高齢化社会に対するため、「老人保健制度」が、昭和五十八年、月から施行され、老人の方が病気やケガ（第三者行為による交通事故等は除く）に要した医療費は、それぞれが加入している健康保険から切り離されて、私たちの町から病院等の医療機関に支払われています。それでは、町からその医療機関に毎年どのくらい医療費が支払われているか、表①により見てみましょう。



本町の老人医療費は、昭和五十八年度が六億八千五百七十一万、昭和五十九年度が七億七千八百八十四万四千九百〇六千六百三十三円増額し、伸び率は「一・三・六」%となっています。また、昭和五十九年度と昭和六十年度を比べて見ると、昭和六十年度の医療費は八億八千五百七十九万二千五百円、伸び率は「一・三・七」%となっています。



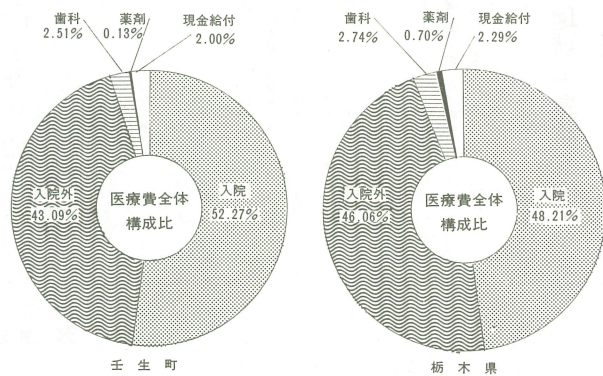
も予想されてきます。

医療費の50%以上が入院費

この多額の老人医療費の内容はどうなっているか、医療費の構成割合をグラフ②で見てみましょう。

これは、入院、入院外、歯科薬剤、現金給付（柔道整復師等）の割合を本町と県全体を別に表わしたものです。まず本町の医療費の構成割合を見ると、入院が五十二・二七%、入院外が四三・〇九%で、入院の方が九・一八%上回っています。県全体では

第2表 町と県全体の医療費の構成割合



どうなっているかを見ると、入院が、入院外に比べ二・一五%上回っています。これが本町の老人医療費を毎年増額している要因にもなっているのではないかと思います。

壬生町民憲章 1. 思いやりに満ちた心であたたかい社会をつくります

一人あたりの医療費

県下で十三位に

本町の医療費が年々増加している中で、近隣市町村と本町が一人あたりいくらになっているか、また、県平均ではいくらか、表③により見てみましょう。

この表でわかるように、本町は一人あたり三万九千二百八十三円で、県内高順位が十三位と上位にランクされ、県平均の三万九千五百一十二円を二万三千四百一円上回っています。これは一人について県平均より上回っている金額ですから、本町の老人の受給者（二、四九八人平均）ではどのくらいになるか算出して見



ると、五三六・一万八四〇九円になり、これが県平均より本町が多く支出している金額です。本町が県の平均を上回る原因については、高額医療によるものと、医療環境に恵まれていることが考えられます。

老人医療費が増額すると

私たちの負担も増える

老人のみならず、病院等の医療機関窓口で支払っている一部負担金、これを除いた医療費が昭和六十年度で八億八千五百七十九万二千五百円、この医療費は、町から病院等に支払われているが、この多額の費用は、町単独で負担することはできません。老人保健法で「老人の医療に要する費用は公平に負担する」と定めていますように、老人医療費のじょうけい（負担）の加入している医療保険（国民健康保険や各種の社会保険等）の保険者が負担し、その負担が、そして残り五割ずつを県と町が負担しています。

しかし、保険者（国、県、町）が負担しているといっても、そのものは、みなさん一人ひとりが保険料や税金の形で負担して

老人の方が交通事故にあつたら届出を

交通事故にあつたら、何ともあれ、まず、次のことをしましょう。

●運転者の氏名・住所・免許証番号・車検証・自動車の持主の氏名・住所（営業車の場合は会社名・代表者名）を相手方から聞いてください。

●どんな小さな事故でも警察に連絡して、事故の確認を受けてください。

●どんな軽いケガでも、必ず医師の診断を受けてください。

●役場民生課にすぐ連絡してください。

●うかつに「許す」とこのないようには、役場から話を聞いてから相手に話を進めてください。

健康で明るい人生を過ごすために「一人ひとりが日ごろから健康管理に十分気をつけて、健康づくりに努めていただきたいのです。」

第3表 老人1人当たり年平均医療給付の状況

単位：円

市町村名	診療費	調剤				現金給付	合計
		入院	入院外	歯科	調剤		
13 壬生町	384,396	207,137	167,658	9,600	533	7,964	392,893
14 小山市	374,511	170,755	192,193	11,564	5,029	8,345	387,885
16 栃木市	359,988	178,008	173,355	8,625	15,064	7,160	382,212
22 都賀町	341,389	158,981	173,147	9,261	7,927	8,131	357,447
23 藤岡町	319,069	170,312	141,064	7,693	26,962	7,801	353,832
25 西方村	324,867	167,641	150,063	7,163	1,991	9,657	336,515
27 石橋町	328,917	137,348	182,245	9,324	486	5,092	334,495
30 大平町	316,208	163,879	143,195	9,135	3,495	10,839	330,542
31 国分寺町	315,502	155,200	149,788	10,513	180	12,313	327,995
33 岩舟町	312,008	141,032	163,472	7,504	1,110	6,170	319,288
00 県平均	357,912	179,436	168,530	9,946	2,615	8,525	369,052

壬生町民憲章 1. 働くことによりこびをもち豊かな生活をきずきます

広報みぶ 8

いずみ町・若草町 いずみ・若草地域が新町名に

いずみ・若草自治会地域の住居表示については、二月一日から実施に向けて、各家庭に住居表示の取り付け作業を進めてきましたが、その作業もは完了し、現在は関係帳簿の整理を進めています。

この住居表示を実施しますと持参も存じのとおり、実施区域では「大字安原」「大字壬生内」が廃止になって新しい二つの町名になります。

（新しい町名）
いずみ町・若草町

また、住居表示実施に伴い、各種届出等の手続きが必要になりますので、二月一日以降はすみやかに手続きしてください。

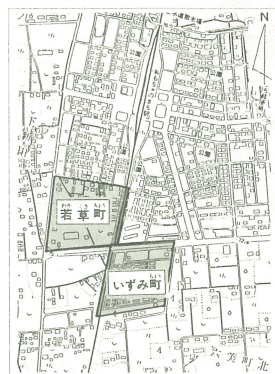
▼建物等新築・増改築したとき
住居表示実施後に家新築したとき、あるいは増改築して出入口を新設したときは、役場住民課へお届けください。

調査のうえ、新しい住居番号を定めお知らせします。

▼公簿書類の書き替えは
役場に備えてある公簿類（住民票・印鑑登録簿等の住所および本籍の表示は、すべて役場で書き替えます）

▼本人が手続きしなければなら

住居表示実施区域



別表のとり
ないもの
住居表示証明書は、役場住民課で無料発行しますので、印鑑持参のうえ申し出てください。また、登記申請書の用紙と記載してください。

別表 本人が手続きをしなければならないもの（2月1日以降に）

種 別	手続きの内容	手続き先	手続きの期間	必要書類等
土地・建物などの所有者	登記に記載されている名義人の住所変更	法 務 局	期限はありませんの 必要ときに申請 してください	・登記申請書 ・住居表示変更証明書 （登記申請書の用紙と記載 例は法務局及び役場住民 課に用意してあります）
会社などの法人とその代表者	法人の所在地変更 と代表者の住所変更	同 上	法定期間内に 〔本店…2週間以内 支店…3週間以内〕	同 上
自動車運転免許をお持ちの方	本人の住所 （本籍）変更	警 察 署	すみやかに	運転免許証
許可・認可・免許などをお持ちの方	同 上	発 行 先	同 上	・所定の変更届 ・住居表示変更証明書
国民健康保険の加入者	保険証の住所変更	住 民 課	2 月 中	保 険 証
国民年金の加入者	手帳の住所変更	同 上	随 時	年 金 手 帳
国民年金・厚生年金の受給者	受給者の住所変更	社 会 保 険 庁	期限はありませんが できるだけ早めに申 請してください	変更ハカキは住民課にありま す（厚生年金については商工 会にもあります）
身体障害者手帳をお持ちの方	手帳の住所変更	民 生 課	すみやかに	印鑑・身体障害者手帳
療育手帳をお持ちの方	同 上	同 上	同 上	印鑑・療育手帳
老人医療受給資格者	健康手帳と資格者 証の住所変更	同 上	2 月 中	印鑑・保険証・健康手帳 （老人医療受給資格者証）
児童扶養手当受給者	証書の住所変更	同 上	同 上	印鑑・児童扶養手当証書
特別児童扶養手当受給者	同 上	同 上	同 上	印鑑・特別児童扶養手当証書
乳児・妊産婦・重度心身障害 者等医療受給資格者	資格者証の住所変 更	同 上	すみやかに	印鑑・保険証・各医療受給資 格者証

壬生町民憲章 1. きまりを守り互いに信じあう明るい町をつくります

広報 9

生活上の悩みなど 民生委員へ

五十七名の新委員決まる



主な活動内容は次のようになります。

厚生大臣から委嘱され、町の福祉向上のための地域活動を行っている民生委員は、本町に五十七名います。任期は三年で、六十年十一月一日付で新たに委嘱されました。

民生委員は、児童委員と福祉委員も兼ね、主な仕事は、担当地区内のみまさんが抱えている生活上の苦しみや悩みごとに対して、親身になって相談、助言を行います。そして、それらの事項を役場や専門福祉機関に連絡をとり、社会福祉に関する情報を提供し、だれもが明るい社会生活が送れるよう活動してい

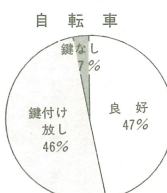
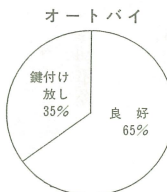
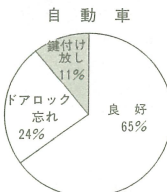
新しく委属された57名の委員

氏 名	担 当 地 区	電話番号	氏 名	担 当 地 区	電話番号
藤田藤三郎	下表町	82-0898	遠藤 晶子	幸町三丁目・四丁目	86-0125
早乙女ゲン	中表町	82-1732	松本 景子	幸町二丁目	86-1059
小田垣佳久子	下横町・今井	82-0032	前田 信子	おもちゃのまち一〜五丁目	86-1918
早乙女俊子	上表町	82-0765	高橋 俊雄	原坪・釜ヶ淵	82-5760
内堀 雪子	東下台・下台団地	82-0723	佐藤 弘	鹿島	82-3324
塩澤 ナミ	城東町	82-0625	渡辺 猛	下馬木・下町	82-4553
早川 悦子	舟町・栄町	82-0210	稲葉 サキ	上町	82-1490
船越多喜知	仲通町	82-0217	高木 正年	本郷	82-4888
荒川 一	上通町	82-0429	青木 ノブ	松原	82-1035
戸崎 豊治	星の宮・旭町	82-1635	木野内 肇	台宿・中央・下坪	82-3407
熊倉 明	三好町・車塚	82-5743	落合 トク	西部・北原	82-9198
篠原多美子	万町	82-0721	黒子 昭平	鯉沼・東原	82-5637
荒川 明	上新町	82-0497	安納 康乃	本坪	82-0847
清水角太郎	西高野・下馬木	82-9187	鈴木 貴夫	北小林・協協職員寮	86-3917
島田 計二	城内	82-0525	篠原善一郎	安塚一	86-0073
人見 イハ	城南	82-1240	中村 朋子	安塚一	86-0559
橋本 福一	馬場・原宿	82-3028	高橋 ミサ	安塚一	86-2030
山川二三子	田向・上坪・前坪・台坪	82-1710	山中 一男	安塚二	86-4096
田向野 明	至宝町（南部）	82-1614	石川 登	安塚三	86-2690
中山 武夫	至宝町（北部）	82-1185	吉田 トシ	安塚南部	86-3816
小平 吉作	至宝町（中央部）	82-2272	中川 英二	上長田	86-0112
橋本 茂	六美北部（ひばり周辺） ひばりが丘	82-0472	山野 壮雄	上田	86-4100
小林 満子	六美北部（中央部） いずみ	82-5161	臼井 秀一	中泉	86-3720
大島 克美	六美北部（東部）	82-4816	二ノ宮一義	助谷・助谷原	86-3738
福田 キヨ	六美南部第二・第一（追沼団地周辺） 六美南部第一（追沼団地周辺を除く）	82-3020	鯉沼 三男	国谷一（落合）・国谷二（南部） 国谷一（内堀） 国谷外道の一部	82-2184
岩田 幸子	緑町三丁目・四丁目	86-1440	大栗 トミ	国谷二（西坪・明城） ・国谷三	82-5936
青柳 とき	緑町一丁目・二丁目	86-0089	佐藤セイ子	若草・国谷外道の一部	86-1034
兵頭 圭子	幸町一丁目	86-3150			

自宅前でも安心は禁物

防犯診断

防犯診断実施状況



ドアロック等を見て回る組合員たち

町では、年末年始の交通安全防犯民総ぐるみ運動とあわせ十一月六日に防犯診断を行いました。

寒さがひとしお身にしみることの時期、午後七時から防犯組合員、警察官、消防団員ら約一〇〇名が自動車、オートバイ、自転車のドアロック、カギの付け忘れなどを見て回り、不用心な家に対しては防犯連絡カードを

入れて注意を呼びかけました。その結果、自動車、オートバイは六割以上が良好でしたが、残りの四割近くはキーを付けたが、していないなり、ドアロックを付けていないなり、オートバイでは半数以上がカギをかけていませんでした。

県警の調査によれば、盗難車の九割がキーを付けたまま放置したスギに盗まれています。その理由は、「家の前なので安心してた」、「すぐ終わる用事だった」、「ついうっかり」が全体の六割以上でした。

銀行強盗などの犯罪に必ず使われるのが盗難車です。また、盗んだ車で犯人が交通事故を起こした場合、持ち主まで損害賠償責任を負われるケースもあります。こうした犯罪を防止するためにも、一人ひとりが身の回りに気を付けて、明るい社会づくりに努力しましょう。

全国連合会長賞受賞

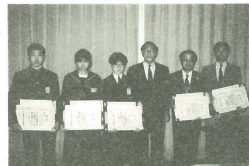
人権擁護委員の青木俊男さん



表彰状を手に町長と

本町には、次の方が人権擁護委員として相談に応じています。相談は無料、秘密は守ります。

人権作文 優秀賞受賞



受賞したみなさん

十一月十八日県自治会館で行われた県人権擁護委員連合大会の席上、青木俊男さん(松原)が全国人権擁護委員連合会長賞を受賞されました。

「互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう。」を目的として、県人権擁護委員連合会、宇都宮地方方法務局共催の

意見・要望を町に

町政懇談会行われる

町政懇談会が、十一月二十八日役場正庁にて町自治会連合会の主催により行われました。

自治会長より賞状の言葉もありました。

楠井町長、松本自治会連合会会長のあいさつの後、松本会長が議長となり懇談会が進められ各自治会長より町側に對しさまざまな意見・要望が述べられました。内訳は、建設課関係に十六件など合計十八自治会より三十七件の意見・要望がありました。また、「以前この懇談会で要望した事項が答弁通り実施され厚くお礼申し上げます」と

町では、これら意見・要望に對し、内容を検討した上で実現できるものから実行してゆき、「任んでよかった」佳みとなるような町づくりに努力してゆきたいと考えております。各自治会からの意見・要望は次のとおりです。(一部)

- ・緑町一丁目 講演会、教室の開催日、時間を勤労者も参加できるように
- ・至宝町 ゴミステーションを地区内に二か所設置してほしい。
- ・公園内三丁目 公園内ブランコが一基しかないで、一基増設してほしい。
- ・安塚南郷 側溝にフタがないため事故発生の恐れもあり改善してほしい。
- ・本郷 町道より農道道路に通じる橋が朽折しすいので改善を。
- ・城内 結忠神社参道西側の南北に通



さまざまな要望が町へ

老人医療 一部負担金が かわりました

1月1日から
各月の最初の日に… 800円
1日につき… 400円

善意銀行

一月一日から、老人医療の一部負担金が次のように変わりました。

- 〇金一四、五一〇円 仰アッブル 代表太田英雄様
- 〇金四、五〇二円 月かげ幼稚園育成会様
- 〇金三、五〇〇円 栄町老人会様
- 〇金三、〇〇〇円 至宝町 轟詩子様
- 〇金三、〇〇〇円 上通町 水野シナ様
- 〇金一、八三四円 食生活を考える学級
- 〇金一、〇〇〇円 受講生一同様

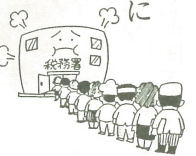
至宝町 本田しのぶ様

住宅取得・医療費控除の還付申告はお早めに

住宅取得控除もしくは医療費控除により所得税の還付を受ける方は、早めに年末税務申告を提出してください。

なお、還付申告は三月十五日以降でも受付していますが、二月十六日から三月十五日の申告期間は大変ごみ合い、長時間待つことがあります。

医療費控除を受ける方
住宅取得控除を受ける方
・医師などの領収書
・印かん
・源泉徴収票
・所得税を納めてある方



請負契約書、売買契約書などで、家屋の取得年月日及び床面積を明らかにする書類又はその写し

・あなたの住民票の写し
・金融機関等から交付を受けた「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」
・請負契約書や売買契約書などで、家屋の建築工事の請負代金や取得の対価の額を明らかにする書類又はその写し

※くわしくは、栃木税務所（二二〇八八五）へ。

十二月の町内価格調査結果

品名	単位・品質	最低値	最高値	平均	前月平均
小麦粉	1等粉 1kg	168	233	199	175
豚肉	もも 100g	85	330	165	166
サラダ油	1,650g	316	585	466	480
砂糖	上白糖 1kg	215	270	240	240
しょう油	濃口 1ℓ	230	290	169	256
塩さけ	100g	115	198	116	158
さばカン	水煮2号 220g	100	158	120	120
インスタントコーヒ	150g	850	1,100	999	1,015
キャベツ	1kg	85	138	112	89
玉ネギ	1kg	100	180	134	110
卵	10個入 M	200	280	204	219
ちり紙	1,200枚	198	470	257	258
ティッシュペーパー	400枚	98	160	130	128
洗濯洗剤	2.65kg	850	910	880	887
台所用洗剤	380ml	129	288	163	164
ラップ	30cm×20m	130	220	180	179
アルミホイル	25cm×8m	98	138	119	121
灯油	18ℓ	840	990	908	949
プロパン	5㎡	2,800	2,850	2,805	2,805
ガソリン	レギュラー 1ℓ	108	115	124	114
軽油	1ℓ	65	80	73	75

町史研究

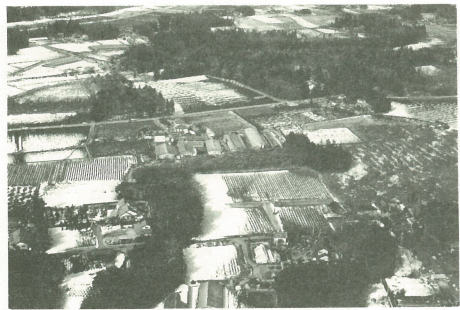


地名由来雑考 (五)

上田 上田は秦川右岸の台地上に立地し、畑地、平地林が散在している。ここは近世に入って開けた地である。

中泉 中泉は水田・畑地もあるが、どちらかといえば丘陵の多い地域である。伝承ではこの地の中央に和泉式部の墓という塚があったので「中の和泉」から中泉になったという。まことに相模な地名由来である。

伊ズミ(相泉・泉)は、イヅ(出)・ミ(水)で、湧泉・湧泉地を意味する。本町の中泉は丘陵の間を縫って流れる沢に由来する地名である。中泉の中は二つのものに挟まれた間の意味である。

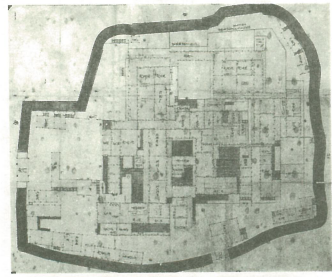


助谷 助谷は江戸時代に助員とも書いた。地内には三条の沢が流れて沖積地を形成

し、谷田をなしているが、沢の両側は台地で畑作地になっている。

地名は三浦上総介がこの地に居を構え、その東と西側が谷地だったので、上総介の介と谷地の谷を合せて介谷といひ、これが助谷に江戸時代以降と字を当てるので、スケカイ(助谷)のスケは、動詞ケル(透る)の連形と考へ、谷間と解される。カイ(貝)は蚌で、山と山との間、これも谷間という意である。また、谷はヤツの略で泥地、沢・谷地形を意味するので、助谷という地名は、典型的な沢の多い谷の地形に由来するものである。無理に上総介の介を引用する必要は全くないのである。

町史編さん専門委員 芳野中世部会長 新学院高等部 教頭 堀静夫



加藤氏が城時代の壬生城本丸

府から命令されました。当時の領地目録をみると、都賀郡之内貳拾五箇村、壬生表郡、壬生通町、福和田村、国谷村、助谷村、羽生田村、赤旗村、榎木村、磯村、亀和田村、七ツ石村、上福寺村、下福寺村、家中村、上堂村、義輪村、川中子村、藤井村、橋本村、細谷村、上大領村、下大領村、前原村、中大領村、大塚村之内、高堂万六千六百貳拾五石八升九合、下総国結城郡之内拾五箇村、新宿村大本村、今宿村、山王村、芳加崎村、濱野邊村、水海道村、糟禮村、佐野村、瀬戸井村、菅谷村、水口村、平塚村、思谷村

先には町史編さんだより六十三号で、壬生・水口両町の接点についてのべましたが、その詳細

塩本村、高五千六百拾三石三斗四升、猿崎郡之内三箇村、仁連山村、山田村、新田村、高千穂百拾八石六斗三升四合、葛飾郡之内壹箇村、柳橋村、高六百六拾六石壹斗六升七合、大和田郡下郡之内三箇村、高百石、十市村、高九百六拾八石八斗四升壹合、都合貳万五千石、後に同十二年二月二十五日村替付、前述の所領より羽生通町、榎木村、上堂村、上大領村、下大領村、前原村、中大領村、七ヶ村が除かれたが、新たに大塚村同所新田惣社村、国分村、養生村同所新田柳原新田・養生村枝郷小宅村、大光寺村同所新田、高堂万貳千六百六拾三石六斗九合八斗、また十市郡之内下庄村同所新田が増えて都合貳万五千石と変らず所領内村方の入替のみで、それぞれ地方支配者が大名から大名へ、もしくは大名から旗本領と所領替えが行われました

続きは次回に掲載いたします



町史編さんだより 65

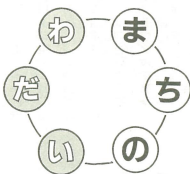
姉妹都市 壬生・水口の歴史的背景 (二)

お正月といえはおせち料理です。にぎやかな食卓を囲み、ついでに、食べすぎたりしてしまいがちです。昔から正月七日に食べる七草がゆは、青物の少ない季節に栄養のバランスを取り戻し、胃の調子を整える役割を果たしていました。食べ過ぎ、飲みすぎの後は動くことがおっくうになり、テレ

じを見ながらゴロ寝、というパターンにならないでしょうか。すると、余分なエネルギーはどこへ行くかというと、体重計の目盛りが増え腹が出てきます。早めに解消しておかないと、成人病につながります。

初詣で、家族の健康を願ってきたことと思います。健康の基本は、まず食生活です。バランスの良い食事を、腹八分目に食べる事が秘訣です。今年はぜひ実行してみましよう。

たばこは町内で買えます



水口町の青年が来町

本町と姉妹都市の関係が続いている塩賀県水口町の青年たちが、十一月二十二日に本町の青年たちと交流を図るため来町し、早速、町内を見学し、夕方から本町の青年と交歓会を行い、翌二十三日は日光へ行き東照宮などを見学しました。



町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。「まちのわだち」は身近な二コーナーで、こころを、「われら仲間たち」は、スポーツや芸術などの「サワクル」を紹介し、掲載を希望される方は企画課広報統計係へ一報ください。

あき缶回収作戦展開

安全協会王生支部（白岩支部長）では年末年始の交通安全運動に合わせ、十二月十七日王生、パイパスのあき缶拾いを行いました。

この日会員たちはゴミ袋を片手に、道路のわきに捨てられたあき缶を拾い集めました。しかし、そのあき缶の多さに会員たちは驚くと同時にこのあき缶によって交通事故が起きても仕方と考えさせられました。



短歌

王生町文化協会文芸部選

南ざれよき沢庵漬が食べたと
勤め婦りの娘が立ち寄りぬ
渡辺 真夕美

訪ふ人も待つ人もなき台湾を生
れ故郷を叔父叔母は發つ
秋山 セン

欲しと云へば分けてやりしを丹
精の御を根こそぎ持ち去られたり
茂木 富美

立札に入るべからずとある芝生
犬もからずも悠々と居る
宇井 秋汀

名を知りて即ち親し草の花
衆川 綾子

これよりは行者徑なり草の花
鈴木佳世子

山の茶屋半ばは閉て冬隣
渡辺 寅八

俳句

宇井 秋汀

名を知りて即ち親し草の花

これよりは行者徑なり草の花

山の茶屋半ばは閉て冬隣

渡辺 寅八

赤のまま摘みて戻れり試歩の妻

われら仲間たち 勤労青少年ホーム 利用者会



12月6日のディスコ・パーティー

若人よ、来たれ!!

壬生町勤労青少年ホームでは年間三回に分け、各講座を組み、延べ約三百名の利用者が、明るい雰囲気の中で楽しく講座に励んでいます。

講座については、マンネリ化を防ぐため、利用者の声、アンケートなどを基に、どんどんと新しい講座開講に努めています。

また、より一層充実した活動をするべく、利用者を昨年度より、その基盤固めに力を入れていきます。昨年度の一番のイベントでありました、八月二十三日

わたしの学校

壬生北小学校四年
大関 聖美



わたしは、この学校が大好きです。それは、ふつうの学校の校庭よりも二倍ぐらい広いからです。そのうえ、この学年もクラスが、組しかなので北小の全

ぼくのお母さん

藤原 大樹
藤井小学校六年



ぼくのお母さんは、近所のきこの育てる会社につとめています。お母さんは、七時五十分ごろ出かけて行くので、それまでかともたいへんそうです。

校生徒が校庭に出て、サッカーをしてもフットベースをしてもゆうゆうと遊べるぐらいだからとても広い校庭なのです。

それから、ここの学校は他の学校では出来ないような行事がたくさんあります。たとえば、九月には、来年度の夏になるまでプールにこいをはなし、今はそのこいも元気で泳いでいます。それにさみずみも植え、そのおもしろいゲームです。学校集会を開いたりもしました。それから、五月に田植えをやり、十月にはみんなで稲刈りをやり

でも、そんなお母さんにもそこそこ所々あります。こはんのタイマーをまちがえて、ごはんを煮る時になってふたをあけてみると、ごはんがなくて

いなかったことがありました。その時お母さんはいそいでごはんを、たきました。

この間ばかり足をけがしてしまつて、歩けないほどだったの、お母さんは毎日おくりむらえをしてくれました。お母さんは時々、こわい時もあるけれどほとんどの時は、やさしくてそばにいてとなんとなく、あたかな感じがします。

これからもお母さんには、会社の仕事にも、家の仕事も一生けん命がんばってもらいたいと思います。

ました。一月には、自分達で育てたお米で、もちつき大会と予定しています。とても自然にめぐまれ、楽しい行事がたくさんあります。だからわたしたちはこの学校が大好きなんです。

この校舎はとても古く、わたしが五年生になると、こを建て替えてしまいます。そして、三階建ての大きな学校にかわります。なんとなきさびしいようなうれしいような……。学校が新しくなっても、校庭は今まで新米に、かわらなければと思っています。

利用者会会長 藤井 正

壬生下馬木が逆転優勝

自治会対抗駅伝大会

16 広報みぶ

第二回自治会対抗駅伝大会が十二月七日に行われ、昨年最終の第十区で西高野チームに逆転され優勝をのがした壬生下馬木チームが、昨年の雪辱を果たし、みぶ優勝しました。

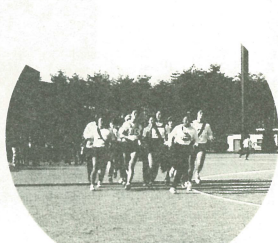
大会は、自治会単位で編成したチームが、町内(周二・五五)のコースを走りました。十区のうち一区は女性、二区は小学生と決められ、町総合運動場を十時にスタートした十四チームのランナーは、沿道の歓客たちの声援を受け、次のランナーにタスキを渡すまで懸命に走り続けました。



優勝の壬生下馬木チーム

ム、しかし、中盤から徐々に下馬木チームが差を詰め、ゴール直前で逆転し、劇的な優勝を飾りました。

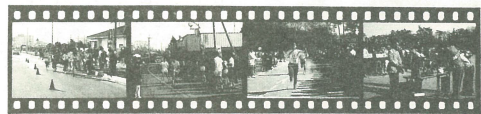
今年大会は、最下位となったチームのタイムが、昨年の優勝チームのタイムを上回るすばらしい内容でした。マラソンと



総合運動場をスタート



それ/たのむぞ。



図書館だより

移動図書館

○幸町一丁目 なかた洋品店裏

1月22日(木) 午後2時より

(2月は休み。次は3月5日)

○安塚 安塚小学校庭

2月18日(木) 午後2時半より

(次は3月18日(木)です)

○「ひばりの会」の皆さんによる

紙芝居と絵本の会

1月17日(土) 図書館児童室

午後2時30分～3時30分

○読書会(図書館二階会議室)

11月の利用

入館者 3,337人

貸出 4,122冊

(一般書 1,740冊)

(児童書 2,382冊)

登録者 4,844人

(新規 134人)

固定資産税 第四期分 国民年金 一・二・三月分

まちのうごき

1月1日現在

総人口 38,153人 (+69)

男 18,964人 (+36)

女 19,189人 (+33)

世帯数 10,721世帯(+4)

() 内は前月比

2月13日(金) 午後1時半より
テキスト 畑山博著「雪花」
※貸出が人口をこえました。
新しい建物になって二回目の
お正月を迎えました。この一年
間、新館で貸出を始めた昭和60
年12月(昭和61年11月)の利用
統計がまとまりましたので、お
知らせします。

開館日数 296日
入館者数 38,304人
貸出冊数 44,764
一般書 19,458冊
児童書 25,306冊
新規登録者 2,224人

数字の上から見ますと、皆さんがこの一年間に、一度は図書館をおとすれ、約12冊の本を借りていかれたことになりました。
※まだ一度も利用したことがないという皆さん、一度のぞいてみませんか。